

1 調査名称：奈良市都市・地域総合交通戦略策定調査

2 調査主体：奈良市

3 調査圏域：奈良市全域

4 調査期間：平成 30 年度～令和元年度

5 調査概要：

本市は地理地形条件や都市機能等の地域特性から、東部、中部、西北部の 3つの地域に類型化できる、公共交通不便地域の存在、慢性的な渋滞、または高齢化に対応した交通環境の未整備など、地域ごとに異なった課題を有している。

また、人口減少と高齢化に伴う社会構造の変化に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりを推進するために、立地適正化計画を策定することとしており、さまざまな交通施策を計画的に進めるべく総合交通戦略を策定するものである。

平成 30 年度分の調査は、現況把握・課題整理、市が目指す将来像の設定、及び総合交通戦略目標の検討までをもって完了とし、平成 31 年度に協議会等を開催する上での基礎資料とし、引き続き検討を行う。

I 調査概要

1 調査名称

奈良市都市・地域総合交通戦略策定調査

2 報告書目次

1 業務概要

1.1 業務の目的

1.2 業務概要

1.3 業務の全体構成

2 現況把握及び課題整理

2.1 上位計画や関連計画の整理

2.2 奈良市の現況整理

2.3 奈良市の交通特性の現況整理

2.4 市民アンケート調査

2.5 現況・課題のまとめ

3 市が目指す将来像の設定（素案）

3.1 総合交通戦略の位置づけ

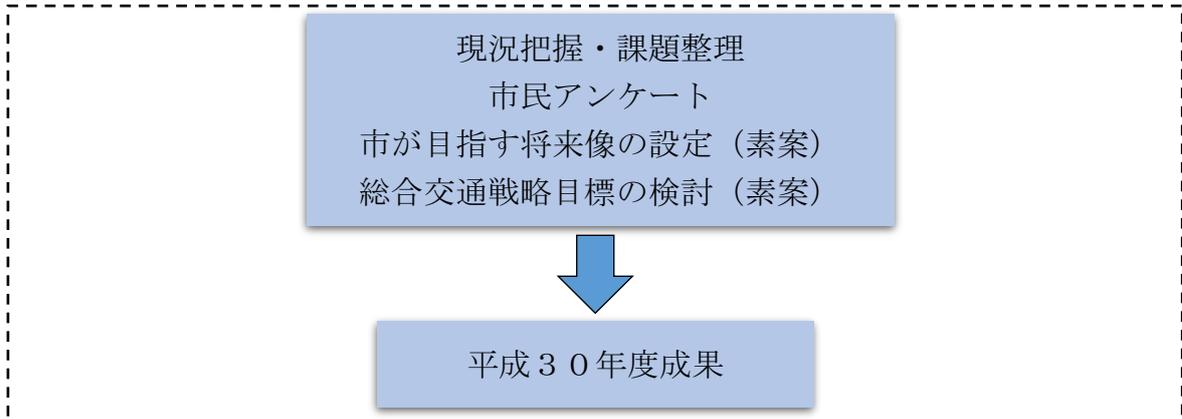
3.2 将来都市像の設定

4 総合交通戦略目標の検討（素案）

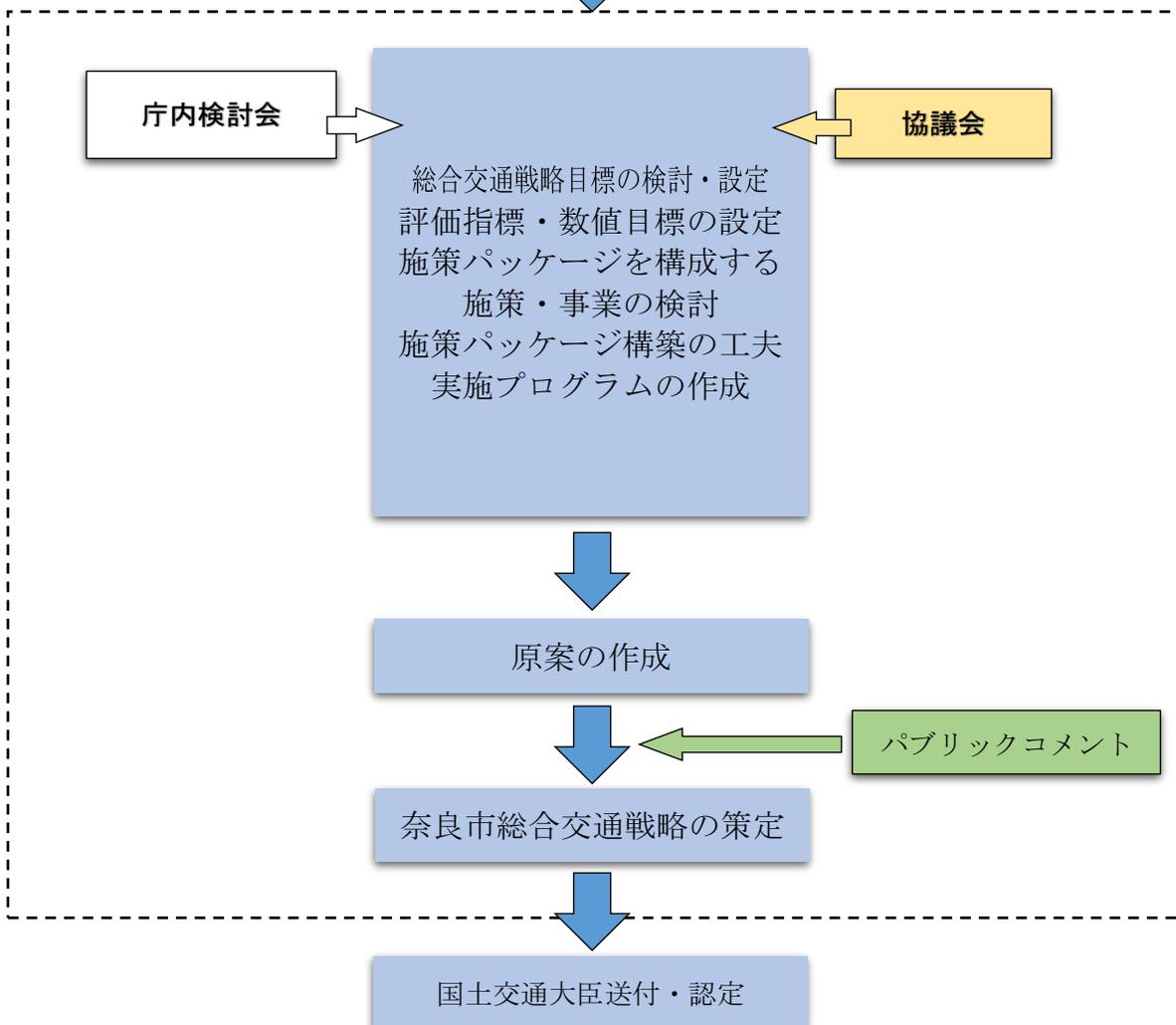
4.1 地域別の目標

3 調査体制

平成 30 年度



平成 31・令和元年度 (予定)

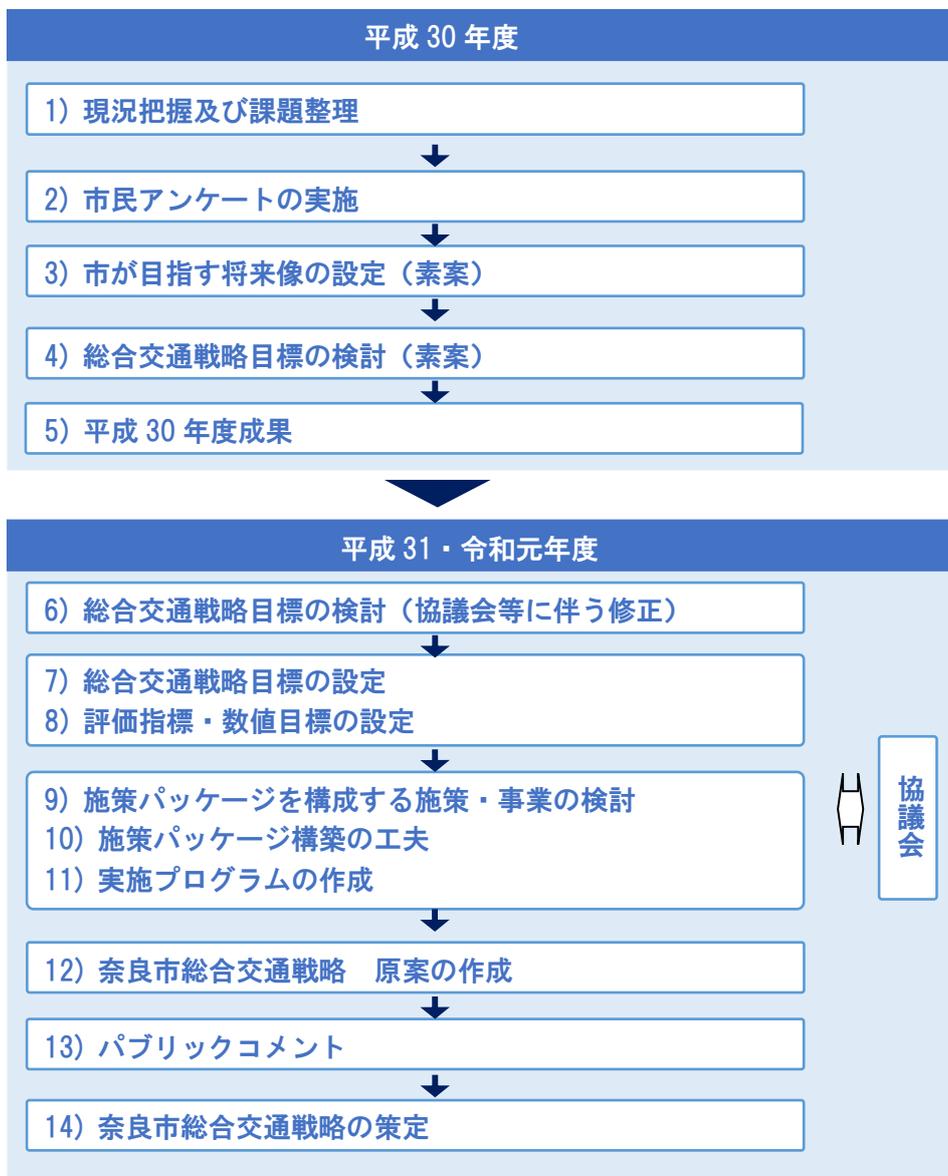


II 調査成果

1 調査目的

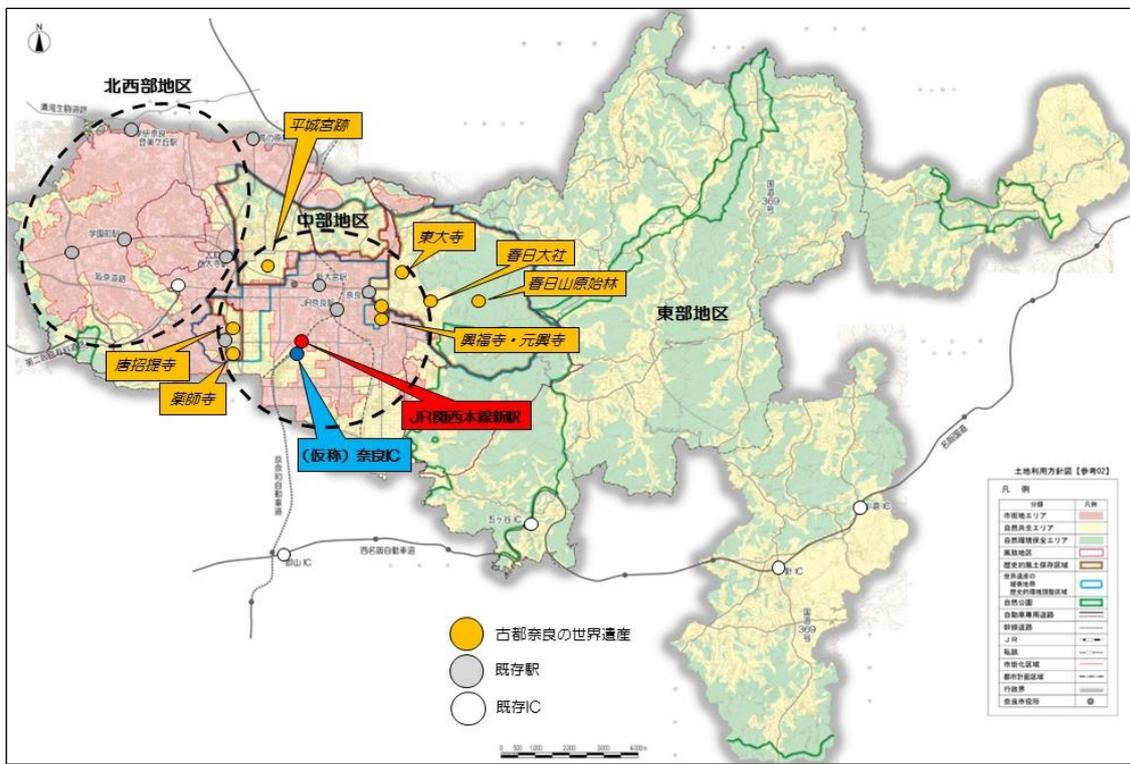
本市は地理地形条件や都市機能等の地域特性から、東部、中部、西北部の3つの地域に類型化でき、それぞれ異なった交通特性や課題を有している。さまざまな交通施策を地域の事情に即して推進していくために、実施時期、実施主体、評価指標等を取りまとめた総合交通戦略の策定を進めるに至った。

2 調査フロー



3 調査圏域図

調査圏域は奈良市全域とする。



4 調査成果

本調査の期間は2ヶ年を予定しており、平成30年度の調査・検討を踏まえ、平成31年度も引き続き総合交通戦略の策定に向けた検討を進めることとしている。よって、本調査成果について、現時点では検討段階であることから非公開とする。